

件名	第二回 町制施行 70 周年記念事業検討委員会
日時	2024 年 8 月 26 日（月） 19：00～20：30
場所	富士見町役場 3 階会議室
出席者	事業検討委員：雨宮千知、和田順子、名取勇、小林千賀子、和田正生、西明子、 小林かしわ、三井望、名取あゆみ、赤坂行男、上原一芳、雨宮伊織、津田賀央、 小林ひとみ、小松千鶴、伊藤寛昭（順不同、敬称略） 町役場：総務課 小林（裕）、名取（俊）、雨宮（陽）、佐藤

1. 開会.

会長：それでは定時になりましたので、第二回町制施行 70 周年記念事業検討委員会を開会します。前回の委員会で決まりましたとおり、本委員会は公開で実施する事となります。前回同様に議事録や資料は役場ホームページ上で公開しますので、よろしくお願いします。それでは事務局から本日の議題について説明をお願いします。

2. 町制施行 70 周年記念事業検討について

事務局：夜分にお集り頂きありがとうございます。前回ご説明させて頂いたとおり、本日は事業アイデアについて、一つずつ意見を伺っていきたいと思います。スケジュールとしては、本日頂いた意見を庁内でフィードバックし再検討したうえで、再度次回委員会にて検討をしていきたいと考えております。それではお手元の資料をご確認下さい。

～資料に沿って説明～

会長：それではご意見、質問ありましたらお願いします

委員：一回目の委員会を欠席していたのですが、資料の事業計画は一回目に皆さんが出されたアイデアでしょうか

事務局：一回目の委員会で出したものではなく、役場からの事業アイデア、町民から募集した事業アイデアになります。

会長：もし新規のアイデアがある場合、最後に意見を出してもらっても大丈夫ですか。

事務局：問題ありません

委員：役場の事業アイデア No.14、15、16、17 のロゴマークとは、何か共通のロゴマークを作る予定ということでしょうか。

事務局：当該アイデアを出したこども課にも確認をしますが、当初聞いていた話ですと、子ども達が自ら考えたロゴを掲載しようということでした。ただ、授業との兼ね合いもあるようです。他方、町のブランディングの観点からロゴマーク等を考えているところもありますので、今後調整をしていく必要はあります。

委員：共通のロゴマークということであれば、町民の皆さんが愛着を持てるようなデザインが望ましいと思います。例えばデザインを子供に限定せず募集することも先生の負担軽減の観点からも良いのではないのでしょうか。

事務局：ご意見ありがとうございます。この辺りについては事業の細部を詰める中で検討をさせて頂きたいと思います。

委員：今回は事業アイデアに対して意見を出してもらいたいということでしたが、今後どのようにまとめて行くのか見通しが見つからないところがあります。記載されている事業をすべて単独で実施していくのか、それともいくつか合わせて実施していくのか。イメージを教えてください。

事務局：事業アイデアについては、各課で実施出来そうなものを記載しております。最終的には合わせることも検討しつつ、年間スケジュールのような形で町民にお知らせをしていきたいと考えています。

会長：一旦、2ページ目も踏まえて意見を頂くことにしましょう。事務局から町民からのアイデアについて説明をお願いします。

～資料に沿って説明～

会長：2ページ目の事業アイデアは前回と一緒にでしょうか。

事務局：内容は一緒ですが、順番を変えて類似性の高いアイデアをまとめて記載し、対応や確認状況を記載した列を右端に追加しています。

会長：本日は事業を決定しないといけないのでしょうか。

事務局：決めなくても大丈夫です。色々な視点からのご意見をお願いします。

会長：記載のアイデアを膨らます意見も大丈夫でしょうか。

事務局：問題ございません。頂いた意見は庁内の各課にフィードバックをさせていただきます。

会長：委員の皆さん、そういった大きな流れの中で意見を頂きたいとのことですが、いかがでしょうか。

委員：70周年記念事業というのは、対象は町内、町外どちらになるのでしょうか。

事務局：庁内で検討していませんが、アイデアを見ると町民に限定するだけではもったいない事業もあります。皆さんはどう思われるでしょうか。

委員：町外へのPRにも繋がるので、ふるさとCM大賞に応募するというのはいかがでしょうか。

事務局：ありがとうございます。事業アイデアとしていただきます

委員：今のご意見に被せることとなりますが、〇〇周年というのは町外にアピールするタイミングとしてよいと思います。町としても宣伝広告に要する予算を確保し、情報を小出しに発信していくことが必要になってくると思います。また、CAMPBOOKやシマノバイカーズフェスティバルのように、一般人が集まるイベントに町として協力していくことも一つのアイデアだと思います。ここにあるアイデアも町単体では実施が難しくても、そういった外部イベントと連携することで、実施の可能性が見えてくるのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。PRに関しても実施していきたいと考えていますので、媒体など色々アドバイスを頂けるとありがたいです。

委員：テーマが共創ということですので、その要素を入れると良いと思います。いくつか講演会というアイデアがありますが、共創を共通テーマとして設定するのが良いのではないのでしょうか。自身が関係する団体からも意見をもらったのですが、園長会から上がっている子育て講演会は、講師も含め魅力的とのことでした。ただ講演してもらうのではなく、例えば障がいを持つお子さんを親と町が共に支えていくといった共創をテーマにするなど、講演にテーマ性があった方がより面白いと思います。また、No.18の子どもの活動についても地域の誰かと繋がるということをより前面に押し出していくことが、共創に繋がるのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。実施方法については担当課にもフィードバックさせていただきます。

委員：前回予算が決まっていないということでしたが、どうしても予算上の制約が気になってしまいます。事業アイデアがとても多いので、まとめた方がいいのではないのでしょうか。

事務局：予算上の制約は出てきますが現時点では全くの未定です。委員会でアイデアを削ったりまとめたりしていくのに並行し、町では10月から次年度の予算編成を開始します。また、現時点ではまちづくり推進係が中心となって検討をしていますが、イベントを実施する場合、その主体を明確にすることも必要になります。ちなみに50周年事業を実施した際の予算は350万円でした。

会長：役場や町民のアイデアも70周年という冠を付けただけのように思われます。これまでの歴史を学び、振り返る何かをやってみるのも良いのではないのでしょうか。例えば、式典の中にその要素を含めるのも良いですし、写真展で振り返るといったことも出来るのではないのでしょうか。

事務局：何かご意見があれば頂きたいのですがいかがでしょうか。

委員：子供たちに模造紙に富士見町の未来像を書いてもらうのは面白いのではないのでしょうか。クラス単位で出してもらうのも良いですし、先生の負担があるのであれば個人応募でも面白いと思います。

事務局：ありがとうございます。授業の中でどこまでできるのかは教育委員会と検討をさせて頂きたいと思います。

委員：ふるさと納税の返礼品に70周年記念に関するものを加えても面白いのではないのでしょうか。

事務局：返礼品に感謝の気持ちの一文や写真を加えるのも良いかもしれませんね。アイデアとしていただきます。

委員：記載しているアイデアを見てみると、類似性の高いものがいくつも含まれています。その一つ一つをまとめていくと事業内容が明確になるのではないのでしょうか。事務局の方で個別の事業アイデアではなく、一つの括りやまとまりにしてもらえないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。仰るとおりですのでまとめてお示しをしたいと思います。

委員：恐らく委員の皆さんが何を検討すればよいのか分からなくなっているのではないのでしょうか。現時点で予算などの制約がないのであれば、事業の検討や判断材料とするため、この場での共通認識を設定し検討を進めていくのはどうでしょうか。70 周年記念がさも意味ある言葉のようになっていますが、今一度何のために記念事業を実施するのか立ち返る必要があるかと思います。そういった意味で 70 周年はあくまできっかけで事業をやる目的をしっかりと定めた方が良いかと思います。

事務局：目を覚ましてもらったようなご意見です。私たち自身、70 周年という数字に囚われていたかもしれません。町民の皆さんとこの節目を分かち合う意味をしっかりと持っておくべきだと思いました。また、それが富士見町らしさをアピールする機会にも繋がるかと思います。この場で共通認識を一から作るのは難しいと思いますので、次回委員会までに事務局でたたき台を作成したいと思います。

会長：ありがとうございます。それでは次回までにたたき台をお願いします。その他に意見が無いようであれば次の議題に移行します。事務局から説明をお願いします。

3. 町制施行 70 周年記念式典の検討について

事務局：式典の内容に関しても検討しようと考えておりましたが、式典についても目的に立ち返って検討する必要があるかと思います。ただ、いきなり検討を進めるとなってもアイデアは出てきませんので、皆さん頭の片隅とどめておいて頂き、検討するタイミングになりましたら忌憚なくご意見を頂ければと思います。

委員：ちなみに来賓は呼ぶ予定なのでしょうか。

事務局：来賓の範囲はそこまで広げることは考えておりませんが、近隣市町村、友好都市にはお声がけさせて頂きたいと考えています。町としても来賓リストのたたき台を作成してお示しさせて頂きます。

会長：皆さんからご意見は有りますでしょうか。無いようであれば次の議題について事務局からお願いします。

4. その他

事務局：本日でなくても良いのですが、記念品の配布の是非について今後ご意見を頂きたいと考えています。

委員：記念品は販売するのでしょうか。

事務局：基本的には無料で配布することを考えています。

委員：モノはあくまで手段ですので、誰にどのような思いを込めてあげるのか。対象者や目的を考えて検討を進めるべきだと思います。

事務局：ありがとうございます。承知しました。

会長：ありがとうございます。では、次回の日程について事務局からお願いします。

事務局：第3回については9月30日（月）19時を考えていますがいかがでしょうか。

委員一同：（異論なし）

事務局：では、第3回については9月30日（月）19時からでお願いします。

会長：事務局には事業の実施目的のたたき台を作成して頂くということで、よろしくお願いします。本日はありがとうございました。

以上